



片づけを考える

○「お得」と自分のタイミング

今年は、秋の心地よさを感じる時間がなく、夏が行ったり来たりしているうちに冬が来てしまった!?そんな季節の移り方でした。

毎年のことながら、あっという間に12月を迎えてしまう気がします。街のあちらこちらではすでに、手を変え品を変えでのクリスマス&年末、年始商戦が始まっていますね。



セールでは、売り手側の作戦のひとつとして、「お得」が使われています。値段を下げたり、まとめ買いでの値引きをしたり、また、ポイントの加算率を上げることなどでも、「今ならお得に買える」をアピールしてくるのです。

モノに関して言えば、この「お得」はこちら側の買いたいタイミングと違ってしまうと、逆に無駄を出してしまいます。

家にあるモノの種類と数、使い切る時間（または、使用の頻度）などを把握した上で、欲しい時に「お得」なモノを買えれば、それが本当に賢い買い方ですが、

家にまだ、使い切れていないモノがあるのに買ってしまえば、それを保管する場所が要ります。保管場所が安定しないモノが増えれば、管理にまで気が回らず、食品など賞味期限切れになることもあります。服などは着る機会がないうちに流行から遠ざかってしまうこともあるでしょう。

売り手側のタイミングに乗って却って「損」をしているのです。

こうして「お得」は、使い切れないモノが家に入ってきてモノが増えしまう原因にもなりますが、手放し時を逃してモノが家に居座ってしまう原因にもなります。



最近では要らないモノを比較的簡単にお金にできる様になりましたが、ここでも少しでも高く売って「お得」をしようと考えたら、思った売値がつくまで、長い時間モノを抱え込んでしまいます。こちら側の売りたいタイミングで上手く進めていかないと要らないモノに無期限で場所を取られます。

モノの売り買いは、自分のタイミングを優先に行きたいですね。それには、多くの「お得」を求め過ぎないことです。

先日、テレビ番組で安売りやまとめ買いで余らせた食材を工夫して使い切る方法を放送していました。すると、ゲストのひとりが「まず、余分に買わない様にするのが大切。余らせた食品の使い切りの工夫も料理に慣れていない人には難しいと思う」とコメントしていて、買い過ぎの核心についていると思いました。

つい、損をしたくないから、得を求めてしまいがちですが、「得」を逃してしまったとしても、「損」しなかったら OK。

そんな気持ちでいたいですね。



朱夏らいふ
森 由香（もり ゆかり）

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」
「シニア世代の家の片づけ方」
「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5S から考える職場の整理収納」他

○資格取得講座＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞
ご希望日をお知らせください

整理収納全般の内容でお受けします。
ご予算等お気軽にご相談ください



モノを減らすお手伝いをします

ご自宅やご実家のモノが多くて、片づけが始まらない方にモノを減らすことをメインにした片づけのお手伝いをします。

ぜひ、モノの手放し方のコツをつかんでください。簡単な収納アドバイスも致します。(セミナー受講生徒さん、紹介の方、誕生日、母の日、父の日ギフトに使われる方、料金割引サービス致します)

※(例)通常コース 3時間 9,600円～ お急ぎコース 3時間 15,000円
～ご相談に応じます。詳細はお問い合わせください

＜朱夏らいふ＞

中国の五行説では、青い春（青春）の次に来る季節は朱い夏（朱夏）です【朱夏らいふ】のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています

朱夏らいふからの片づけ情報をご自身の片づけにご活用ください



ameblo.jp/shukalife/



友だち追加

検索 ID@380 hsyer



Instagram

shuka_life08

発行日：2024年12月1日（日）No.56

編集&発行：朱夏らいふ 森 由香

E-mail：info@shuka-life.com

H P：<https://shuka-life.com>



2024年12月発行 第56号



朱夏らいふ便り (56)



生徒さんのちょっとした話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。

 〈蓮田市 Iさん 60代女性〉
「初めて片づけのセミナーに参加しました。そして初めて片づけの順番と気持ちの持ち方を知りました。今までの行き当たりばったりのやり方が片づけが続かなかった理由だったとわかりました。」

 〈所沢市 Oさん 70代女性〉
「売ればお金になるかも、と思い、不要なモノも残してありました。売るのは娘に頼むつもりでしたが、私のモノで娘に手間を掛けさせるのもよくないと考え、自分で少しずつ〈片〉をつけています。」

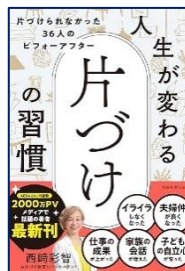
受講から片づけのレベルアップができたおふたりに拍手です 

人生が変わる 片づけの習慣

本の紹介

この本は、36人の「どんな人がどのように考えを変化させて家を片づけていったのか」が書かれています。

「片づけが苦手」と自分で思っていた人達が、理想の空間を作ることにたどり着いたその流れを知ること、「私にもできるかも」と一歩を踏み出せそうな話が満載です。



著者 西崎 彩智 定価 1,650円(税込)

講座のご案内

○コープカルチャー **〈ポイントを知ってらくらくお片づけ〉**
毎月第2木曜日 10:30~12:00 コープカルチャー富士見

○蓮田市公民館企画講座 **〈シニア世代の片づけ〉**
1/15 1/22 1/29 2/12 〈全4回連続講座〉
10:00~11:30 蓮田中央公民館

○白岡市中央公民館講座 **〈あの家はなぜ片づいているの?〉**
1/20 1/27 2/3 2/10 2/17 〈全5回連続講座〉
13:30~15:00 白岡市中央公民館

○戸田カルチャー **〈実践! 片づけ講座〉**
2/22 3/22 4/26 〈全3回連続講座〉
11:00~12:15 戸田カルチャーセンター

○春日部市市民塾 **〈自分に合った片づけを始めよう〉**
3/5 3/12 〈全2回連続講座〉
9:30~11:30 春日部市教育センター

○資格認定講座 **〈整理収納アドバイザー2級認定講座〉**
9:30~16:30 春日部市民文化会館他

ご希望日で開催しています(オンライン講座もできます)

※詳細、その他の講座は朱夏らいのHPをご覧ください 



朱夏と日和

～ひとりごと片づけ日記～



裏庭に手を入れることになって、父が亡くなってから、ほぼ「開かずの物置き」も壊すことになった。

この物置きの管理はもっぱら父任せだった。几帳面だった父は、色々なモノを工夫してきちんとしまっていた。長いことこの物置きを片づけることができなかったのは、「扉を開けるとその整然さに父を思い出して、寂しくなる」と、都合のよい言い訳があったから。

しかし、今回はそんなことは言っていられない。期日までに中を空にすることが、私に課せられたマスト案件なのだ。とりあえず、庭にブルーシートを敷いて、ひたすら中のモノを出す。

庭仕事に使うモノや父の趣味だった釣り道具の他に、我が家で遊びに使っていたレジャー用具、カー用品、私がはまって飽きた畑作りの道具、40年前の妹の車の新品のタイヤホイールもあったし、箱に入った返礼品、それに母がブランデーに漬け込んだ年代物の梅酒もあった。

こうして、父は家族が「とりあえず、捨てたくないから適当に放り込んだモノ」を文句も言わず、テトリスのごとくしまっておいてくれた。

趣味の釣り道具も見事な程、きれいにしまっていた。中には高そうなモノも! それを見て、父が趣味を楽しんでいたのがわかり、嬉しかった。片づけたのが今だから、こんな気持ちになれたのかも。

物置きから出したモノは、ひたすら、分別、ゴミ出し、を繰り返し、全部片づいていった。

片づいた後、妹が「私達、なぜ、この(父の)几帳面さを受け継がなかったのかしら」と笑った。

私達姉妹、母のアバウトさの方をもらっちゃったわねー



整理収納Q&A

- ・Q 私自身は出来るだけモノを手放す様にして、定位置も決めて暮らしていますが、家族はお構いなしです。モノを必要以上に買ってくるわ、その辺に置き放しにするわで、私のストレスがマックスです。
- ・A モノの価値観や暮らしに対する思いは家族でもそれぞれですが、お互いに自分のやり方を通していても解決にはなりません。理想は話し合いで方向性を決めることですが、家族で話し合いなどと堅苦しく感じてできないこともあるでしょう。

その様な時は、ご自身の思いを伝えるといいかな、と思います。この場所はきれいに見せたいからモノを置きたくない。しまう場所がないほどの余分なモノは床置きになる要らない。とかですね。

モノが増えるデメリットをやりわり話すのもいいでしょう。お互いに少しずつ譲り合いながら暮らせるといいですね。



収納のコツ

棚や引き出しの中など、収納グッズを使ってモノ同士を仕切りながら収納の形を作る場合は、グッズの色や形、数が揃っていると見た目がきれいで、全体的に整った感じが出ます。

その整った状態をみることでモチベーションが上がり、モノの維持管理につながっていくメリットもあります。

ですが、見た目を整えることに凝り過ぎると収納の本来の目的、「モノを使いやすく収める」から離れてしまうことにも起こってきます。



人目に付く所は、ある程度、面と色を気にした方がいいのですが、人目につかない所や、扉などで中身が隠せる場所などでは、あまり見た目をこだわらず、モノがよく見えることとモノが戻りやすいことを優先して収納の形を作っておいた方が使い勝手がよい収納になります。

中がよく見える色(透明や半透明)などのグッズを使う、戻すための動作数を少なくするためにグッズを使わない、などあえて見た目を気にしない緩い収納も取り入れてみましょう。



扉つき
キャビネットの棚
直置きで、ワンアクションで取り出せるし戻せる
半透明のグッズを使うことでラベリングの手間がないのがラク



「収納用品の購入は後で」ってどういうこと?

片づけを始める時に、まず、収納用品を買うことに気持ちが向きますが、「先走って買わないで」ということです。

片づけでは、収納は整理が済んでから考える、が基本です。整理をして、要らないモノを排除した状態で、残したモノの収納場所や収納方法を決めていく流れです。

整理が済まない状態で収納を考えることは、本当は要らないモノなのにそのモノのために、収納を考える時間、収納場所を取られてしまうことになります。

収納場所があるとスペースのある安心感から要不要の判断が緩くなり、要らないモノも残してしまいがちなので、収納用品の先買いにはその点での注意も必要です。

面倒な整理も理想の収納を考えながらこなしていくと楽しみができて、やる気も維持できます。

